

3 学年「職業演習（清掃）」年間指導計画

1 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○働く喜びや充実感を味わう。 ○清掃用具を正しく使い、手順を守ってスムーズに清掃作業を行うことができる。 ○相手を意識し仕事に取り組むことができる。 ○与えられた仕事の意義を理解し、場にふさわしい態度で取り組む力を身に付けることができる。
2 指導の構想	<ul style="list-style-type: none"> ○企業就労において、清掃はどの業種でも行われるため、清掃の意義、方法を知るとともに、実際の経験を重ねることを目的とする。 ○「お客様」や「職場」といった他者の「場」を清掃することを想定し、「場」にふさわしい態度を身に付けることも目的とする。 ○技能検定に向けた学習を設定し、生徒の技能向上や意欲向上、学習評価に活用する。
3 教師が行う支援（配慮事項）	<ul style="list-style-type: none"> ○講師や上級生による手本、外部講師による実演を取り入れ、生徒が見て学べるようにする。 ○客観的な自己評価ができるよう、作業中の動画録画を活用するなど、振り返りの工夫を行う。 ○実際の経験を多く積めるよう、校内校外ともに実際の清掃をする場面を設定する。
4 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の指導計画(前・後期)において、授業担当者及び担任が設定する。
5 評価（観点、場面、方法）	<p><観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ○態度(あいさつ、姿勢、身だしなみ等) ○丁寧(方法、用具の扱い等) ○時間(手際の良さ、能率、速さ、時間厳守) <p><場面、方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポイントをまとめたチェックシートでの自己評価及び教師による評価、生徒同士による評価。 ○授業内、適宜作業時の動画チェックによる評価。

月	回	単元名	主な学習内容・学習活動	内容表との関連
4	1~2	オリエンテーション	オリエンテーション、心構え、働く力、技能検定に向けて	家労-② コ-① コ-② 豊-③ 豊-④
	3~6	清掃用具整備	用具の手入れ、清掃ロッカー等整理・清掃	
	7~10	テーブル拭き清掃 窓拭き清掃	テーブルの基礎、働く態度 窓拭きの基礎、働く力	
5	11~14	自在ぼうき清掃	自在ぼうき清掃(教室・階段・廊下)	
	15~18	水モップ清掃	水モップ清掃(教室・階段)	
	19~22	ふれ愛プラザ清掃	ふれ愛プラザのホール、二階廊下、階段の自在ぼうき、水モップ、窓拭き清掃	
6	23~29	事務・製造作業	製造作業(折り紙、折り鶴、アクセサリー作り等のものづくり) 働く態度	
	30	まとめ	振り返り、まとめ	
7	31~50	清掃技能検定 後輩への指導	清掃技能検定 出場種目練習 後輩への清掃に関する手順・技能等指導	
1	1~3	オリエンテーション テーブル拭き清掃	オリエンテーション(心構え、働く態度)、テーブル拭きの基礎 テーブル拭き、働く態度	
	4~7	清掃用具整備	用具の手入れ、清掃ロッカー等整理・清掃	
	8~11	窓拭き清掃	窓拭きの基礎、働く力	
2	12~15	校内床・階段清掃	自在ぼうき、ダスタークロス、水モップを使った清掃の基礎・応用 チームで行う清掃、働く態度	
	16~19	トイレ・洗面所清掃	トイレ・洗面所清掃の基礎、働く態度	
	20~24	事務・製造作業	業務依頼(オレンジリボン作成、紙折り・ポケットティッシュへの封入等) 働く態度	
3	25~29	卒業前校舎清掃	校舎内の清掃必要箇所リサーチ(特に普段清掃を行わない箇所を中心に) 清掃場所設定の話合い、校舎内清掃活動	
	30	まとめ	振り返り、まとめ	

特記事項

3 学年「職業演習（流通）」年間指導計画

1	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○働く喜びや充実感を育む。 ○流通の仕組みを知り、基礎的・基本的な知識・技能を育む。 ○正確さや適切な速さを意識して取り組む力を育む。 ○ペアやチームで話し合い、効率よく作業をすることができる。
2	指導の構想	<ul style="list-style-type: none"> ○流通ステーションでの品出しや接客、シーラー・パッカーなどの作業的学習、事務作業を組み合わせながら、実際の現場に近い形での学習ができるようにする。 ○事務作業の学習では、異学年の学び合いをねらいの一つとして3学年合同での学習活動を設定する。 ○流通についての仕組みを知ると共に、企画から販売までを経験することで働く喜びや厳しさ、充実感を味わえるようにする。
3	教師が行う支援 (配慮事項)	<ul style="list-style-type: none"> ○作業環境を構造化して、集中して作業に取り組み続けることができる環境づくりをする。 ○生徒が自己評価しやすいように、授業の導入で活動のねらいや目標を提示する。 ○「できた」「できない」が分かりやすいように、作業の基準を写真や実物で示す。
4	評価 (観点、場面、方法)	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の到達度を知るために、単元の終末時にテストを行う。 ○振り返りシートを活用して、毎時間の目標や自己評価を基に評価を行う。

月	回	単元名	主な学習内容・学習活動	内容表との関連
前期 江 G	1	オリエンテーション	オリエンテーション①	
	2	作業的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・シーラー パッカー練習 ・メモの取り方 ・品出し・前出し練習 ・ピッキング ・接客 レジ練習 等 流通ステーション(毎週木曜日使用可)を中心に練習を行う。 	
	3			
	4			
	5			
	6	職場実習	<ul style="list-style-type: none"> ウオロク亀田店での職場実習 1時間程度 品出しと前出しの実習を週一回(4週間)実施 受け入れ人数の関係で生徒を4人程度の小グループに分けて実施する。 	
	7			
	8			
	9			
	10	流通検定練習	<ul style="list-style-type: none"> 流通検定受検者を中心に、運搬、品出し、前だし、接客等の練習を行う。 ※検定を受けない生徒は、練習の補助役(客役、タイム計測、道具の運搬等) 	
	11			
	12			
	13			
	14			
	15	作業的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・シーラー パッカー練習 ・メモの取り方 ・品出し・前出し練習 ・ピッキング ・接客 レジ練習 等 流通ステーション(毎週木曜日使用可)を中心に練習を行う。 	豊-③,④ 地-① 家-②,③ コ-①,②
16				
17				
18				
19				
20	職場実習	<ul style="list-style-type: none"> ウオロク亀田店での職場実習 1時間程度 品出しと前出しの実習を週一回(2週間)実施 受け入れ人数の関係で生徒を4人程度の小グループに分けて実施する。 		
21				
後期 南 G	22	事務作業的学習	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市役所からの業務依頼 オレンジリボンの作製、チラシ折り、パンフレット訂正シール貼り等に取り組む。 工程を細分化して、得意な工程をそれぞれが担当する。 	
	23			
	24			
	25			
	26			
27	振り返り	流通の学習 振り返り		
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				

特記事項
 ・事務作業としては新潟市役所障がい福祉課より依頼される仕事を中心に行う。オレンジリボン作製、ポケットティッシュへのチラシ封入、療育手帳カバー付け、パンフレットシール貼り等が主な内容である。

3 学年「職業演習（介護）」年間指導計画

1	ねらい	○福祉の理念や基礎的・基本的な知識・技能を育む。 ○相手の立場に立って考え、気配りする気持ちを育む。
2	指導の構想	福祉の理念とは「人間らしく生きること」「生活すること」を保障することである。この理念や介護の心得を「理解する」ためには、相手の現状を「知る」ことから始まるものとする。「高齢者疑似体験」や「高齢者と介護者を役割交代しての演習」等を通して、経験的に学べるようにする。 3年時は「相手の立場を考えた工夫、気配り」や「下級生へのアドバイス」等を行い、社会に出て役立つ「相手を思いやる言動」を身に付けるようにする。
3	教師が行う支援（配慮事項）	○身体接触を伴うような介助場面では、男女を分けたり事前に注意喚起をしたりして、ふざけや事故につながらないようにする。また、介助される側の気持ちを重視し、気持ちを代弁したり介助者の適切な言動を示したりして、即時のフィードバックができるようにする。 ○介護職に就労した卒業生をゲストティーチャーとして来校依頼し、専門的なところを教えてもらう。 (単元配列の祭の留意事項) ・介護員養成科へ行く生徒がいる場合は、その生徒が交流会に参加できるように計画を立てる。 ・ゲストティーチャーとして1、2学年の活動に参加し、介護で学習したことを伝えられるよう、配慮した計画にする。 ・下級生に教えることを通して「わかりやすい伝え方」「同僚との関わり方」を学べるようにする。 ・就労後を見据え、自分で判断して適切な報告・連絡・相談ができるようコミュニケーション力の向上を図る。
4	評価（観点、場面、方法）	・高齢者の体や心の特性、介護の仕事で大切な心構えを理解することができるか。 ・利用者の立場に立って考え、思いやりのあるコミュニケーションをとることができるか。 ・用具の名前や正しい使い方を理解し、利用者の生活環境を整えることができるか。 ＜車いす＞＜ベッドメイキング＞＜清掃＞＜たたみ＞＜お茶出し＞＜ドライバー＞等は、チェックシートやポイント表等を使用して気をつける点を明らかにし、職員からの評価を受ける。 ＜レクリエーション＞＜コミュニケーション＞＜交流＞等は、事前指導で気をつける点を明らかにする。そして、振り返りの時間を多く設け、自分や他の生徒の考えを聞き、考えを深められたかを評価する。

月	回	単元名	主な学習内容・学習活動	内容表との関連		
4	1	介護オリエンテーション	高齢者の特徴と介護の仕事の心構え、3年生としての学習の心構え	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: 2em; font-weight: bold; margin-right: 10px;">江グループ</div> <div style="font-size: 0.8em;"> 豊-③ 日-③ 日-④ 健-④ 家労-② コ-① コ-② </div> </div>		
	3~5	移動介助演習	車いすの扱い方、安全な走行			
	5	6~9	ベッドメイキング演習		昨年度までの振り返り、作業ポイントの確認	
		10, 11	ベッドメイキング演習		(*1・3年合同)作業ポイントの確認と反復練習(向陽高校)	
		12	ベッドメイキング演習		ベッドメイキングの振り返り	
13		レクリエーション演習	交流会に向けた準備と練習			
6	14	レクリエーション演習	(*1・3年合同)交流会事前学習・準備			
	15	レクリエーション実習	(*1・3年生合同)地域の高齢者との交流会			
	16	レクリエーション演習	(*1・3年合同)活動の振り返りとまとめ、礼状(感想)書き			
	17	生活介助演習	ドライバー演習、お茶出し			
	18		浴室清掃、衣服たたみ			
	19		居室清掃、洗濯、おしぼりたたみ			
20, 21	総合練習(一連の流れを想定)					
7	22	事務	事務作業			
	23, 24	事務	電話対応、メモの活用			
	25		介護振り返り		学習内容の振り返りとまとめ、後輩へのアドバイスまとめ	
	9	1, 2	介護オリエンテーション		高齢者の特徴と介護の仕事の心構え、3年生としての学習の心構え	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: 2em; font-weight: bold; margin-right: 10px;">南グループ</div> <div style="font-size: 0.8em;"> 豊-③ 日-③ 日-④ 健-④ 家労-② コ-① コ-② </div> </div>
3		ベッドメイキング演習	昨年度までの学習を振り返ってのポイントまとめ、教えることを想定して練習			
4~9		ベッドメイキング演習	(*2・3年合同)作業ポイントの確認、ペアで行う仕事でのコミュニケーション			
11		10	移動介助演習		車いすの扱い方、安全な走行	
		11	レクリエーション演習		交流会に向けた準備と練習	
	12	(*1・3年生合同)交流会事前学習・準備				
	13	(*1・3年生合同)地域の高齢者との交流会				
12	14	レクリエーション実習	(*1・3年合同)活動の振り返りとまとめ、礼状(感想)書き			
	15	事務	事務作業			
	16		電話対応、メモの活用			
	17	ベッドメイキング演習	(*1・3年合同)教えることを想定して練習			
	18, 19	ベッドメイキング実習	(*1・3年合同)ポイントを意識した反復練習(向陽高校)			
	20	介護振り返り				

特記事項

- ・学習内容は順不同。まず1学年の実習の日程を決め、1、3学年合同で行う交流の日程を決める。その後、各学年の計画を立てる。
- ・介護ステーションは3学年中心で使用し、活動内容に応じて譲り合う。用具を使用する活動はかぶらないよう配慮する。
- ・用具等は、1、2年生を優先に使用する。生徒の実態に応じて、学年での内容や回数が前後しても構わない。
- ・インフルエンザ等の感染症の予防に注意する。(予防接種未接種の人は、外部に出るときは要相談。)

「〇〇〇〇」年間指導計画

担当 A B
 C D

1 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 主語は「教師」で記載する。 <input type="radio"/> 基本的には、「～の力を育む。」で統一する。 <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2 指導の構想	
3 教師が行う支援 (配慮事項)	
4 評価 (観点、場面、方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主語は「生徒が」で記載する。 ・ 基本的には、「～ができるか。」で統一する。 (場面・方法) ・ 箇条書きで記載する。

月	回	単元名	主な学習内容・学習活動	内容表との関連
		この部分の項立てについては、基本的には、変更しない。		
				「身に付けさせたい力の内容表」の分類にしたがって記載する。

特記事項